

⑤ 第5委員会

「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまちづくり」



それでは、第5委員会の意見を発表します。

第5委員会のテーマは、「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは、7月25日に名古屋^{じょう しせつ}城の施設見学を行いました。

本丸御殿^{ごてん}について、竹林豹虎図^{ひょうこ}や対面所の京都風景画などの金箔^{きんぱく}が使われていた障子^{しょうじ}が印象に残りました。豹^{ひょう}と虎^{とら}の動きや表情^{ひょうじょう}のほか、京都に住む人々の様子が伝わり豪華^{ごうか}でした。

また、本丸御殿^{ごてん}は外側の見た目よりも、大名のためにたくさんの部屋をつくったことが印象に残りました。本丸御殿^{ごてん}のほとんどの部屋が太いヒノキでできていて、表書院と対面所^{てんじょう}の天井^{てんじょう}の形や大きさが違う^{ちが}ことがすごいと思いました。さらに、名古屋^{じょう}城^{てんしゅかく}の天守閣の入

り口は敵^{てき}が攻め^せにくいようなつくりになっていたり、屋根は重さを軽くするために、瓦^{かわら}ではなく銅^{どう}でできていたことが印象に残りました。名古屋^{じょう}城^{てんしゅかく}の天守閣には、昔の人々の知恵^えが詰^つまっていることがわかりました。

以上のことから、名古屋市内の小学生全員が、名古屋^{じょう}城の見学に行けるとよいと思いました。

その後、私^{わたし}たちは、施設^{しせつ}見学をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするためには、何をすればいいか考えました。

それでは、私^{わたし}たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

私^{わたし}は、第5委員会の子ども議員です。

皆^{みな}さんは、名古屋^{じょう}城^{ごてん}の本丸御殿に行ったことがありますか。私^{わたし}は名古屋城の本丸御殿^{ごてん}を見学して最も印象に残ったものは、たくさん^{きんぱく}の金箔^はが張られたふすまです。光が当たるときらきら光り、本当にきれいでした。いろいろな動物や植物が描かれていて、特に^{えが}豹^{ひょう}と虎^{とら}の絵はとても格好^{かっこう}よかったです。

このようなすばらしい本丸御殿^{ごてん}を世界中のたくさんの人に見にきてもらい、楽しんでもらいたいと思います。そのために、まずは学校の友達や先生によさを伝え、もっと勉強をして、さらに多くの人に宣伝^{せんでん}していきたいと私^{わたし}は考えます。皆^{みな}さんもぜひ名古屋^{じょう}城の本丸御殿^{ごてん}に足を運んでください。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

僕は、名古屋城の施設見学に行って、地形に合わせてお城も広さを変えているということが印象に残りました。なぜなら、敵に攻められやすいところは広くして、攻められにくいところは余り広くしていなく、無駄に広くしていないことがわかりました。

このように昔のお殿様の知恵はとてもすばらしく、びっくりしました。このような知恵を名古屋の人全員に伝えるために、名古屋市の小学生全員が見学に行けるとよいと思いました。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

僕は名古屋を「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするには、外国人との交流が大切だと思います。

僕は名古屋城へ行きました。名古屋城にはたくさん人が来ていることに驚きました。しかし、外国人はそんなに来ていませんでした。

名古屋城は障壁画がとてもきれいで、大きな金のしゃちほこもあり、そのほかにも見るところはたくさんあります。本丸御殿の中に入ると、ヒノキの香りがして、日本の文化を感じられます。英語をたくさん勉強して、名古屋のよさを伝えたいです。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

私は、歴史ある名古屋城じょうを生かせば名古屋市をにぎわいのあるまちにできると思いました。

理由の一つは、名古屋城じょうには長い歴史があるからです。歴史を生かしたにぎわいのあるまちにするには、長い歴史のある名古屋城じょうが必要だと思いました。

もう一つの理由は、7月25日の火曜日に見学で名古屋城じょうに行った際に、平日にもかかわらずとてもたくさんの人でにぎわっていたことです。名古屋城じょうがにぎわっていることで、名古屋市全体も、にぎわいのあるまちになると思ったからです。名古屋城じょうはとてもよいところでした。皆さんもぜひ行ってみてください。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

僕は、「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするために、「歴史ワクワク名物うまうまクイズラリー」をするとよいと思います。

名古屋の城しろや名古屋の歴史に関係する場所に歴史に関係するクイズをつくり、そのクイズを季節ごとに変えるとよいと思います。

答えを歴史に関係する場所にすることで、その場所の名物を知ることができるし、自然に名古屋のまちを回れるようになります。こういうことをすることで、名古屋へたくさんの人が来るようにイベントをやるとよいと思いました。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

^{わたし}私^がこんなのがあったら楽しいと思うのは、本当にその時代に行けたらいいなと思います。でも、^{げんじつ}現実^にそんなことはできません。

だから、プロの役者の人たちに当時の様子を^{えん}演^{じて}もらうのです。

例えば名古屋^{じょう}城^でいうと、将^{しょう}軍^{ぐん}と家^け来^{らい}が次の戦^{せん}の会^{かい}議^ぎをしているところや、お姫^{ひめ}様が当時の遊^{あそ}びをしているところなどを、名古屋^{じょう}城^の至^{いた}るところでやっていると、本当にその時代にいるような感じになります。そして、楽しくわかりやすく歴史も学べると思います。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

^{みな}皆さんは、歴史は好きですか。歴史が好きな人はたくさんいると思います。では名古屋の歴史は好きですか。これは意外と少ないと思います。名古屋の歴史として一番イメージしやすいのは何ですか。それぞれありますよね。私^{わたし}は名古屋^{じょう}城^を見^み学^{がく}しました。

名古屋^{じょう}城^のことも知れたのはもちろんですが、もう一つ気づいたことがあります。それは、来ているお客さんの笑^わ顔^がです。^{わたし}私^はその笑^わ顔^を見て、名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるま^{まち}ちにするには、名古屋^{じょう}城^に無^む料^{りょう}で入^いれる機^き会^{かい}をふやしたり、伝^{でん}統^{とう}的^{てき}な行^{ぎょう}事^じをこれからも続^つけて、実^{じつ}際^{さい}に体^{てい}験^{けん}したりして名古屋の歴史を知ってもらうことが必要だと考えました。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

僕は、名古屋城じょうを見て思ったことが二つあります。一つは、本丸ほんまる御殿ごてんの竹林豹虎図ひょうこです。虎とらと豹ひょうが一緒に子どもを育てている絵はとても印象に残りました。

もう一つは、名古屋城じょう天守閣てんしゅかくです。名古屋城じょうは一度戦争で焼けているのに、みんなの資金しきんのおかげで復元ふくげんできたことがすごいと思いました。

その力を生かして、名古屋城じょうの歴史を今までよりもっと復元ふくげんさせたり、名古屋城じょうの歴史がわかりやすくなったらいいなと思います。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

第5委員会のテーマは「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」です。

そのテーマどおりのまちにするには、名古屋城じょう内に宿泊しゅくはくできて、武将ぶしょうになって殿様どの気分を味わえるアトラクションをやったらいいと思います。

なぜなら、歴史きょうみに興味きょうみがなくても、やったら興味きょうみが持てて歴史に関心みなが持てて楽しめると思ったからです。皆さんも殿様どのになって豪華ごうかな料理を食べてみたいと思いませんか。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

私は、名古屋城が何度も燃えているのに、なぜ今のきれいな名古屋城があるのか、とても疑問に思いました。

でもそれは名古屋城で働く人の思いがあるからだと思います。歴史を守ろう、お客様の安全を守ろうというような歴史に対する思いや、人のために何かをしようと思う一人一人のおもてなしの心が、この名古屋市を変えらると思います。

きょう、あした、そしてこの先もおもてなしの心を忘れないで、これからの名古屋市の未来を変えていくことが大切だと思ひました。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。名古屋の歴史や文化の名所の中で、今一番新しいところは、本丸御殿だと思ひます。資料に基づいて細部にまでこだわって復元された建物で、重要文化財のふすま絵がお部屋の中で、使われていた様子のまに見学することができます。

たくさんの人に来てもらうためには、本丸御殿だけではなく、名古屋の食べ物やお土産などの名産品、お祭りなどとあわせてアピールするとよいと思ひます。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

僕たちは7月25日に名古屋城の施設見学をしに行きました。名古屋城は小天守と大天守に分けられ、私たちが天守閣と呼んでいるのは大天守のほうです。名古屋城は小天守に入らないと大天守に入れない仕組みになっています。さらに小天守の中は狭く、数人ずつしか入れない設計になっており、大天守に移動するときも、約180度回転するように曲がらなければいけないので、敵が攻めにくい設計となっています。

名古屋城には、今はほとんどない昔の人々の知恵がたくさん詰まっていて、僕はそれに関心を持ちました。ですが、僕が関心を持ったことで、「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまちづくり」ができるわけではありません。ですが、それを宣伝することはできると思います。僕は最初、歴史は余り詳しくありませんでした。ですが、名古屋城の施設見学を通して、それを感心することはできました。なので、歴史に興味がなくとも、施設見学を通せば、歴史に興味を持つのではないかなと思いました。

○子ども議員

第5委員会の子ども議員です。

僕は、歴史に関心を持ってもらうために、名古屋城でリアル脱出ゲームを開催すればいいと思います。

名古屋城に幾つかの歴史の謎の答えを隠しておいて、それを見つけて、覚えていなければ脱出できないようにすれば、みんなに関心を持ってもらえると思ったからです。

それにタブレットなどでやる脱出ゲームとは違って、片っ端からさわれば脱出できるわけではありません。

だから、みんな必死で覚えると思えます。さらにクリアできたら景品がもらえたら、歴史に余り興味がなくとも、やりたい人がふえると思います。

わたし
私たち第5委員会は、このようなことが名古屋を「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまち」にするために必要だと考えました。これで、第5委員会の発表を終わります。

■ 佐藤経済水道委員長の答弁

第5委員会の皆さん、大変お疲れさまでした。たくさんの意見や提案をたくさん、たくさんいただいたこと、経済水道委員会の北野副委員長、そして岡本副委員長、また教育委員会の岩崎先生と代表して深くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、この第5委員会では「名古屋の歴史を生かしたにぎわいのあるまちづくり」というテーマに基づき、まずはみんなで実際に名古屋城を見に行きました。いろんな発見や驚きがたくさんあったと思いますが、私も驚いたことがありました。名古屋城から帰るとき、傘を皆さん差していらしたと思うんですが、どしゃ降りの雨に襲われました。靴、靴下どころかズボンやスカートまでずぶぬれになったと思います。その直後、少し体を拭きながら会議室にすぐ、時間もないので入ることになりました。皆さんずぶぬれのままでした。

心が折れてしまったんじゃないかなと思った瞬間でありましたし、寒かったですし、帰りたいなという思いの中、時間の都合もありましたので、早速委員長を選ぶ、そんな場面だったと思いますが、何と数多くの皆さんが委員長、副委員長になりたいということで、手を挙げられ、しかもその場ではしっかりと皆さん、それぞれが発言をされたことを非常に強く印象に残っています。



そんな皆さんだからこそ、副議長が選出されることにもつながったと思いますし、きょうこの場でもしっかりとした発表ができたことと思います。

皆さんからきょういただいた意見、本当にたくさんあったと思うんですけども、皆さんならではの意見がもちろん多かったようにも思います。この地域の歴史や名古屋城に対する思いだけでなく、ゲームやクイズ、アトラクションやイベントなどといった皆さんならではのいかに楽しく学びながら知ってもらうか、いかに興味を持ってもらうかというような御意見もたくさんいただきました。

総じてどう伝えていくのかと、どう広めていくのかということにも御意見をたくさん頂戴したように思います。今後も委員会運営にもしっかりと反映をさせながら、取り入れていくところはしっかりと取り入れてまいりたいと思いますので、大変ありがとうございました。

今回知ったこと、学んだことだけでなく、緊張の中、議場で発言をしたことなどの経験も踏まえて、今後の皆さんのこれからの活躍にもしっかりと生かしていただきながら、今後の人生を歩んでいただければなというふうにも思いますし、私どももしっかりといただいた提案を生かしていけるようにしてまいりたいと思います。

いろんなたくさんの提案をいただいたことを感謝を申し上げ、答弁にかえさせていただきます。ありがとうございました。お疲れさまでした。

